

事業の概要	事務事業名	広報等作成事業				担当部	市長公室	担当課	広報広聴課						
	実施計画	2	年目												
	新基本計画	市政戦略編	○	分野別計画編	7	自治体経営	31	行政運営	1	情報の共有化を推進します					
	予算区分	一般会計	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	広報広聴費	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	① 小牧市広報発行規則 ② ③													
	目的	何(誰)を対象に	市民												
		どのような状態にするか	小牧市の各種施策や計画についての説明や行事等の情報を提供し、行政に対する理解と協力を得る。												
	手段	どのような事業を実施するか	<ul style="list-style-type: none"> ・広報こまき、市政カレンダー、転入者向けの市政案内としてくらしのガイド(隔年)、市の魅力や施策を紹介する市勢要覧(隔年)などを作成し、市政情報の提供を行う。 ・市政、各種事業、サービスなどの情報を的確に提供するため、毎月2回(1日号と15日号)広報こまきを発行する。 ・市民活動団体に広報こまきの一部(くらしの掲示板、市民の情報交換のコーナー)の作成を委託し、市民との協働による広報紙づくりを進める。 ・市民活動団体との協働で「市民レポーター」の取材による広報紙面への掲載を行い、より市民に身近な広報紙となるよう努める。また、「市民レポーター制度」の夏休み特別企画として、子どもたちが「こどもレポーター」として市内各所を取材し、広報こまきに掲載する。 ・刊行物の発行にあたり、取材・編集・校正・チェック及び関係課との調整を行う。 												
		事業内容													
		28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・広報こまきを毎月2回発行した。(印刷費:75,464千円 平均発行部数:57,395部) ・市政カレンダーを発行した。(印刷費:4,147千円 57,000部) ・市の魅力や施策を紹介する市勢要覧を発行した。(印刷費:1,710千円 1,200部) ・市民活動団体に広報こまきの一部(くらしの掲示板、市民の情報交換のコーナー)の作成を委託し、市民との協働による広報紙づくりを進めた。(委託料:2,882千円) ・定住促進プロモーションパンフレットを発行した。(印刷費:820千円 20,000部)また、移住交流フェアに参加し、市の魅力をPRした。 ・市民活動団体との協働で「市民レポーター」の取材による広報紙面への掲載を行い、より市民に身近な広報紙となるよう努めた。また、「市民レポーター制度」の夏休み特別企画として、子どもたちが「こどもレポーター」として市内各所(FDA、愛知ヨーク、市温水プール)を取材し、広報こまきに掲載した。(委託料:2,998千円) 												
	29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・広報こまき、市政カレンダー、転入者向けの市政案内としてくらしのガイドを作成し、市政情報の提供を行う。 ・市政、各種事業、サービスなどの情報をいち早く的確に提供するため、毎月2回(1日号と15日号)広報こまきを発行する。 ・市民活動団体に広報こまきの一部(くらしの掲示板、市民の情報交換のコーナー)の作成を委託し、市民との協働による広報紙づくりを進める。 ・市民活動団体との協働で「市民レポーター」の取材による広報紙面への掲載を行い、より市民に身近な広報紙となるよう努める。また、「市民レポーター制度」の夏休み特別企画として、子どもたちが「こどもレポーター」として市内各所(エースペーカリー、福玉倉庫、市歴史館)を取材し、広報こまきに掲載する。 ・刊行物の発行にあたり、取材・編集・校正・チェック及び関係課との調整を行う。 ・移住交流フェアに参加し、市の魅力をPRする。 													

事業費	財源内訳 (千円)	H28		H29
		当初予算額	決算額	当初予算額
		合計		
		95,744	87,259	95,863
	国支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	95,744	87,259	95,863
	特定財源の説明			
事業費	事業費内訳 (千円)	H28		H29
		当初予算額	決算額	当初予算額
	細々節			
	市長対談謝礼	8	6	8
	広報作成支援謝礼	40	10	40
	特別旅費	85	81	85
	消耗品費	659	462	600
	食料費	2	1	2
	印刷製本費	82,400	75,464	83,000
	修繕料	80	78	80
	通信運搬費	168	90	139
	広告料	0	0	723
	ビデオ記録撮影委託料	817	734	797
	航空写真撮影委託料	864	842	1,200
	広報紙発送委託料	467	394	417
	広報紙市民協働作成委託料	3,876	2,882	3,876
	市民レポーター制度実施委託料	3,000	2,999	3,200
	市勢要覧作成委託料	1,800	1,711	0
	電子計算機借上料	1,335	1,334	1,335
	業務用備品購入量	80	0	190
	研修会負担金	63	63	63
	移住交流フェア参加負担金	0	108	108
従事者数	正職員(人数)	5.00	5.00	5.00
	その他職員(人数)	0.00	0.00	0.00

ステップⅠ	影響を与える展開方向の指標		単位	目指す方向性	基準値	H26	H27	H28	H29
	①	広報こまきを毎号読んでいる市民の割合	%	→	71.9	70.1	67.5	68.0	
②									
基本施策の展開方向の指標に対する影響(貢献等)									
H28実施結果	単身世帯や自治会未加入者の増加により割合が減少する要因がある一方で、広報こまきのPRやスマートフォンの普及などにより、横ばいで推移している。広報を読むことが比較的少ない若年層に向けて、SNS(facebook、LINE等)等を利用し周知を図り、今まで紙媒体の広報紙を読まなかった方に、WEBで読んでもらえるよう働きかけていく。								
ステップⅡ	事業の成果指標		単位		H26	H27	H28	H29	
	①	広報こまき平均発行部数	部	目標	56,000	57,500	57,500	57,500	
				実績	56,858	57,074	57,395		
②	こどもレポーター(小学生)参加人数	人	目標	-	-	10	10		
			実績	-	-	14			
ステップⅢ	事業の活動指標		単位		H26	H27	H28	H29	
	①	広報こまき平均発行回数	回	目標	24	24	24	24	
			実績	24	24	24			
②	定住促進プロモーションパンフレット配布数	部	目標	-	-	20,000	-		
			実績	-	-	20,000			
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因、今後の見直し									
H28実施結果	<ul style="list-style-type: none"> 世帯数の増加に比例し、広報こまきの平均発行部数が増加している。引き続き広報こまきのPRを積極的に行うため増加が見込まれる。 こどもレポーターについては、10人程を想定していたが、H28、H29とも14人の参加があった。 定住促進プロモーションパンフレットは20,000印刷し、ほぼ全て配布した。 								
ステップⅢ	要因を踏まえた事業の見直し								
H28実施結果	<ul style="list-style-type: none"> 今後も広報こまき各号の発行時にチラシを作成し市内各所に掲示するとともに、掲載内容についても必要に応じ各コーナーの充実等を図っていく。 こどもレポーターについては、昨年度経験者が再度応募してくるなど、参加者にも概ね好評である。今後も学校を通じて周知を図り、事業を進めていきたい。 30年度は定住促進プロモーションパンフレットを印刷、配布する。 								

一次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	維持	市民が市政情報を得ることは、パブリックリレーションズの本旨である「市民と行政の良好な関係の構築」のために必要不可欠であり、事業の現状維持は必須である。なお、事業内容の充実や対象・手段の見直しは必要に応じて行っていく。

二次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	維持	一次評価のとおり。
	実計ヒアリング実施要否	不要	
事業の位置づけ	実施計画事業として継続		